

# 平成19年5月分電力需給状況

## 需要の概要

平成19年5月の販売電力量は、22億1千2百万kWh時、前年比 101.3%となった。

### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、4月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房需要の減少などから、前年比 98.6%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、自家発電の廃止などから、前年比 104.1%となった。

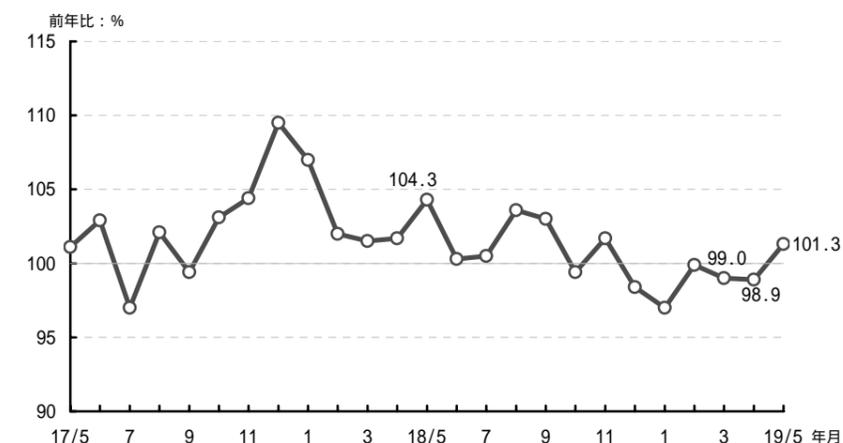
産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、鉄鋼などが前年を上回ったことから、前年比 104.4%となった。

## 需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	703	98.6
	電 力	148	96.4
	計	851	98.2
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	477	104.1
	産業用電力	884	103.0
	うち大口電力	(693)	(104.4)
	計	1,361	103.3
販売電力量 計		2,212	101.3
融 通		592	113.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



## 大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		(百万kWh時、%)		
		19/5月	19/4月	19/3月
紙・パルプ	132	106.1	107.7	108.1
化 学	143	98.1	100.3	98.9
鉄 鋼	84	112.2	114.5	112.6
機 械	134	100.2	100.0	101.1
そ の 他	200	108.2	107.6	107.7
合 計	693	104.4	105.3	105.1

(参考2) 4県都平均気温

	19/4月				19/5月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	12.8	14.3	16.9	14.7	19.0	18.9	20.9
平年差	0.1	0.3	0.6	0.1	1.3	0.2	1.0	0.8
前年差	0.2	0.1	2.6	0.8	0.5	0.6	0.3	0.1

## 供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により、前年比 130.2%となった。
- 水力は、湯水により、前年比 31.5%となった。
- 火力は、湯水による水力の減少などにより、前年比 110.2%となった。

## 供給実績

	(百万kWh時、%)		備 考
	電力量	前年比	
原子力	( 37) 1,108	130.2	出水率 53.5% (18年5月出水率 125.6%)
水 力	( 5) 152	31.5	
火 力	( 57) 1,713	110.2	
新エネ	( 1) 23	180.3	
発受電計	(100) 2,996	103.2	
その他	5		
供 給 計	2,991	103.4	

注：( )内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

	(百万kWh時、%)			
	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	( 98.8) 498	( 99.7) 361	(102.2) 778	(103.5) 575

注：( )内は前年比